

知ることから始まる、まちづくりへの一歩

弟子屈町議会だより

令和8年第2回定例会

Vol
119

topic_01

よりわかりやすく
補正予算について

topic_02

町民の声を町政へ
一般質問

topic_03

中心市街地
廃ホテル解体が開始

目次

- P 1 表紙
- P 2 ～ 補正予算・総括質疑
- P 4 ～ 一般質問
- P 7 専決処分の報告と承認
- P 8 可決された議案
- P 9 臨時会・人事案件
- P 10 議会の動き



今回の補正予算は、総額に**2億3,717万2,000円**を追加し、
予算総額を**216億9,588万3,000円**とするものです。

②交通空白解消乗合ハイヤー事業(実証運行)

既存交通だけでは移動が困難になる『交通空白』を解決するため、
路線バスの停留所がない地区や便数が少ない地域に居住する方へ
に向けた乗合ハイヤーの実証運行を実施。

<事業の概要>

運行期間：令和8年9・10月9時～15時（平日のみ）

事業実施区域：弟子屈町全域

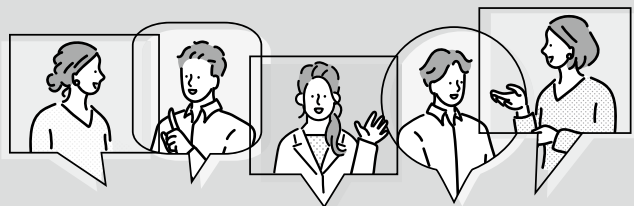
運賃：1人1,000円（弟子屈市街区域内500円）



【補正予算額】526万9千円
(総務費・地域対策費)

財源内訳

- 国……………500万円
- 町債、その他……………25万円
- 一般財源……………1万9千円



予算特別委員会 議員による質疑



町指定ごみ袋の価格について

(三上委員)



Q 中東・イラン情勢の中で、ナフサ由来の製品が少なくなっている状況が報道されているが、町指定のごみ袋に対しての影響はあるのか。



A 令和8年度分のごみ袋の購入契約はすでに完了しているため、価格の変更はなく、しっかり在庫を確保できている。町民の皆さんが通常通り生活していただければ、報道等にあるような販売の制限をかけるような予定も全くない。



交通空白解消乗合ハイヤー事業について

(三上委員)



Q 利用者の乗車方法や、行き先（買い物、病院等）は限定されているのか、計画の内容について詳細を伺う。



A 事前に登録をしていただいた方に前日まで予約をしていただき、そこに迎えに行く。市街地では、現状8か所のバス停を降車場所として考えている。用事を済ませた後、帰りも同じ場所から乗っていただくよう考えている。デマンド型交通とは違い、あくまでもバスの代わりとして運行するような想定をしている。



冷房設備の設置状況とクーリング シェルターの運用について(萩原委員)



Q 今年も夏の気温が高くなるという気象庁の長期予報もふまえ、対策・対応をどのように見通しているか。



A 役場庁舎は、外壁工事により、夏のエアコン設置は間に合わないと考えている。どうしても暑い場合には、既に購入してあるスポットクーラーを使う予定で、公民館や図書館にも貸し出す。クーリングシェルターについては、川湯地域にさらにもう1か所指定をする。広報誌や公式LINEなども活用しながら町民の方がすぐ情報を得られるように運用する。



ふるさと納税の動向について

(川上委員)



Q 今年度に入ってから直近のふるさと納税の動向はどのようになっているか。



A 10月1日からの法改正に向けて、今年の2月より事業者に対して説明を行った。加工の状況や事業者の返礼品の状態等を公開する準備ができている。4月からの寄附については、昨年度より低く推移している。他自治体でも同様の状況であるため。状況を把握しながら、予算額である45億円を目指して取り組んでいきたい。



防災資機材等備蓄施設整備事業の 詳細について

(川上委員)



Q 地方債の補正で計上されている同事業について詳細を伺いたい。



A 老朽化した公用車の格納庫や移転後の旧勤労者会館を解体し、防災拠点となるよう計画している。道などの協議の中で防災事業で行えるということになり、財源変更ということで計上している。

令和
8年度

補正予算が決まります

主 な 重 点 事 業

① 医師招聘委託業務

将来にわたり持続可能な医療体制を築くため、民間専門事業者の知見を活用し、意欲ある医師ユニットの招聘と10年以上の定着を支援。

<委託業務の概要>

- (1) 招聘・評価：医師・スタッフの探索、資質および地方適応性の適正評価
- (2) 経営・採用支援：医師裁量を尊重した医療ユニット構築および経営シミュレーションの策定
- (3) 伴走支援：着任後1年間の経営モニタリング、医師・家族の生活環境調整、孤立防止支援



【補正予算額】 2,901万 2 千円
(衛生費・地域医療推進費)

財源内訳

- 国・町債・その他……………2,900万円
- 一般財源…………… 1万 2 千円

AI導入支援業務 (健康こども課)

生成AI技術を活用し、保健師等の「記録・文書化」にかかる過大な工数を削減。職員が対人支援に集中できる環境を整備することを目的に実施。

○実証期間：

令和8年7月1日～令和9年3月31日
(9か月間)

【補正予算額】 283万 3 千円
(衛生費・保健予防費)

財源内訳

- 国・町債・その他……………0万円
- 一般財源…………… 283万 3 千円

観光文化センターの 設備更新 (債務負担行為)

観光文化センター利便性向上のための備品賃貸借。

【予算(限度額)】

プロジェクター賃貸借 370万円
(R 8～R 13年度まで)

トレーニング器具賃貸借 750万円
(R 8～R 13年度まで)

札友内51線沢川 調査設計委託(緊急復旧)

護岸倒伏による二次被害防止のための復旧調査設計を実施。

【補正予算額】 1,000万円 (土木費・河川整備費)

財源内訳

- 国・町債……………1,000万円
- その他・一般財源…………… 0 千円

川湯温泉街廃屋撤去工事

「川湯温泉再構築事業」の一環として、川湯温泉4丁目エリア(旧御園ホテル社員寮 ほか)の廃屋を撤去することで、**景観の改善と安全性の向上**を図り、街の再生を推進することを目的に実施。



【補正予算額】 4,719万 6 千円
(商工費・国立公園振興費)

財源内訳

- 国……………2,294万円
- 町債・その他……………2,240万円
- 一般財源……………185万 6 千円

アイヌ民族資料館増築に係る地質調査

増築棟建設に向けたボーリング調査等を実施し、地盤状態を把握。

【補正予算額】 274万 7 千円 (教育費・資料館管理費)

財源内訳

- 国・町債・その他……………270万円
- 一般財源…………… 4万 7 千円



三上 務 議員



①高齢者が住み慣れた地域で「住まい・医療・介護・生活支援」を一体的に支援する「地域包括ケアシステム」は15年経過したが、現状と課題を伺う。②介護のデジタル化の進展で新たに「介護情報基盤」が開始するが、どの様に取り組むか。③2027年度改正の介護保険制度では介護制度維持として国の介護保険給付から町負担の地域支援事業に移行する際の懸念について伺う。④都市部では特養など施設入居の待機者が約25万人いるが、本町の介護施設へ「住所地特例」を検討して介護移住は可能か



①「包括支援センター」の充実、在宅医療と介護の連携、認知症の理解と支援を促進している。課題は介護従事者の不足だがデジタル化対応しつつ「ケアシステム」が遅滞せぬよう努力する。②「介護情報基盤」は利用者の介護情報を集約したもので市町村、介護事業所、医療機関で共有し、業務の効率や介護サービスの向上を目指す。③2027年度改正予定の介護保険制度では、本町として第10期介護保険事業計画を準備中。国からの内容を検討し町負担の増加にも対処していく。④介護移住は本町の在宅介護サービスや入居施設の供給に限度があり、また、介護従事者不足もあり当面は難しい。

副町長答弁

今後の介護問題について

▼「ケアシステム」の充実・

「医療や介護の共有化を図る



板垣 牧 議員



複合型地域観光交流拠点施設をどのように活用、運用していくのかについて伺う。

- ①当初の方針“集まる、出会う、憩う、遊ぶ”について、変更や追加はないか
- ②方針を達成するために、どのような創意工夫でハード面を整えるのか、またソフト面に於いても町民の皆さんが満足できる工夫やアイデアを考えているのか、進捗を伺う
- ③ランニングコストの見積もりとそれを賄うための町の負担額はどの程度になる予定か
- ④金融施設が入る予定だった空きスペースの活用について



- ①方針に変更や追加は無い
- ②ハード面は談笑できるカフェやラウンジ、本の読み聞かせや自習のスペースができる予定。ソフト面に関しては運営会社が施設の機能を活用しながら“集まる、出会う、憩う、遊ぶ”の場を提供して行く。また、町民の皆さんが主体的に活動を行えるよう、運営体制を整える。
- ③着工の遅れ、施設規模の拡大、物価高騰等により、最新単価での再見積もりを精査中である。財源は国の補助金25%、過疎債70%、一般財源5%で、全体の74%が国の支援となる。現在プール、温泉、図書館にかかっているコストが新施設に回せること、温泉による暖房を活用、町外の利用者からの二重価格を取り入れる、国の支援を受ける等の工夫で、しっかり経営努力をしたい。
- ④町民の皆さんが納得行く形で、要望を叶えて行きたい。

町長答弁

中心市街地再構築計画の進捗について

▼創意工夫や経営努力に務める



川上 棕輔 議員



未来に負担を残さないための「公共施設の最適な配置と維持管理の断行」について
▼計画に沿った施設集約、二重価格の検討や施設の多機能化を目指す

Q/

当町の公共施設の老朽化比率は74.6%と極めて高い。目標である「一人当たり面積12.55㎡」の達成と約61億円の維持費縮減を確実にするため、計画策定から10年経過した現在の達成状況と町の分析はどうか。また、今後5年間の施設廃止・集約の具体的な年次工程表の策定や、公共施設カルテを通じた町民への積極的な情報公開を行うべきではないか。

A/

高齢化と加速する人口減少の中、施設の集約・廃止は時間を要するが、公営住宅の縮減や生活館の集約等は進めてきている。一方でバリアフリー化による建物の大型化、解体に伴う大型廃屋施設の取得もあり、一人当たりの床面積は依然高い水準となっている。今後も、計画目標を踏まえ、町民の意見や財政見通しを考慮したうえで施設再編、町民以外に向けた二重価格の設定の検討や指定管理制度の活用を進める。また、公共施設の現状や課題を理解いただくため「公共施設カルテ」等の広報誌やHPでの公表範囲を検討し、未来への負担軽減を図っていく。

副町長答弁

川上 棕輔 議員

Q/

人口減少社会における行政サービスの維持には、単なるデジタルツールの導入ではなく、根本的な業務プロセスを見直すBPR（業務改革）が不可欠だ。内部職員向けの業務効率化やDX推進の現状と実践結果はどうか。また、ICT人材派遣制度を活用した専門人材の受け入れや、横断的な業務改革を牽引する司令塔としての「業務効率・DX推進課」を来年度創設するべきではないか。

A/

全庁的なDX推進のため、今年度からプロジェクトチームを中心に業務フローの可視化や標準化を進めている。地域情報化アドバイザーの活用等で専門的知見も取り入れ実績はあるので、今後も必要に応じ活用する。

一方、ご提案の「業務効率・DX推進課」の来年度の新設については、現状の組織体制や大型プロジェクトの同時進行、人材確保の制約等を総合的に勘案すると困難である。引き続き総務課とプロジェクトチームを中心に全庁的な業務改革に向けた現状把握を進めていきたい。

副町長答弁

持続可能な行財政運営に向けた用務改革の断行と「業務効率・DX推進課」の創設について
▼新たな課の創設は厳しい。庁内プロジェクトチームを中心に取り組む



萩原寛暢 議員

Q

今年も弟子屈町内でのヒグマの目撃情報が相次いでいる。国や道においても対策を講じているが、これらを踏まえた町のヒグマ対策の現状について尋ねる。

また、ヒグマ対策においては、町民の心理的な不安の解消や軽減も必要不可欠である。学校現場での教育活動も取り組まれつつあるが、既に行われている出没情報の発信に、出没個体の危険度が分かる有害性の判断情報も加えてはどうか。

A

ヒグマを目撃した方からの通報が役場や警察に寄せられた際には「ヒグマの特徴」や「行動」「目撃時間」を把握し、現地へ行ってヒグマがその場に居ついていないか確認している。その上で、関係機関への周知とともに町ホームページや公式LINE等を活用し、広く町民にも周知している。さらに、人通りのある箇所には出没看板の設置を行っている。

啓発活動の一環としては、町民がヒグマの生態を学ぶ機会を作るために、本年3月より町内全ての小学校へのヒグマ関係の特別授業を実施し、7月には全町民を対象とした講演会も予定している。

また、有害性の判断情報についても、北海道から示されている基準に照らして危険個体か否かの判断を行い、その周知方法や対応について検討する。

町長答弁

ヒグマ対策において、町民の不安解消のために有害性判断の情報を加えてはどうか

▼北海道の基準に照らし合わせて、周知方法や対応について検討する



武山秀樹 議員

Q

弟子屈町の進学支援奨学金制度は、卒業後に返す貸与型と大学等卒業後に弟子屈町へ定住する事を要件とする奨学金返還支援制度がある。しかし就職後、給与体制の低さや物価高騰など社会情勢により奨学金返済が経済的負担となっている。現行の奨学金制度に加え「給付型奨学金制度」導入により、返済期間の短縮を図る事で経済的負担軽減が図られると考える。この事を踏まえ、①給付型奨学金の導入について、②奨学金返還支援制度一部見直しについて伺う。

A

現在の物価高騰や初期キャリアの給与水準を背景に、若者の奨学金返済が経済的負担となっている事は、町としても重要な課題であると認識している。①給付型奨学金導入の検討については、持続可能な財源の確保など高度な制度設計の精査が必要である。現時点での導入は困難であり、引き続き慎重に調査・研究を重ねる。

②返還支援制度の一部見直しについては、この制度を前提として人生設計を行っている学生や、採用計画を立てている地元企業への影響も無視できない。中長期的財政計画や福祉・子育て施策との整合性、さらには町民負担の公平性の観点から極めて緊密な検証が必要であり、検討を進める。

教育長答弁



給付型奨学金制度について

▼重要な課題と認識している。
現時点での導入は困難

令和8年第2回定例会について

6月2日招集の第2回定例会は、2日間の会期を定め開催された。町からの提出議案として、報告5件、単行議案4件、補正予算3件、人事案件15件、諮問1件が提出。

議会からは意見書案1件が提出され、それぞれ可決した。一般質問では、5人から6問の質問があり、町への提案など活発な議論が行われた。

令和8年度弟子屈町各会計補正予算

会計名	区分	補正前	補正額	補正後
一般会計		214億5,871万1千円	2億3,717万2千円	216億9,588万3千円
介護保険特別会計		9億6,422万2千円	125万6千円	9億6,567万8千円
下水道事業会計		3億4,201万2千円	154万0千円	3億4,355万2千円



専決処分に
関して

専決処分の報告と承認

■町税条例及び町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する 条例の制定について

(報告第3号)

軽自動車税の環境性能割の廃止や、固定資産税の免税点引き上げによる改正のほか、地方税法等の一部を改正する法律及び関連する政省令の改正に伴う町税条例の改正。

■令和7年度 補正予算の最終確定

(報告第4号)

各事業の執行額が確定したことに伴い、一般会計で歳入歳出それぞれ7億1,012万2,000円を減額し、予算総額を201億6,041万8,000円とした。

■専決処分事項の報告について

(報告第6号)

令和7年度に予算計上された事業が年度内に完了できず、翌年度に繰り越した金額が確定したことによる報告。

10事業で繰越額の合計は7億1,380万7千円で、財源の内訳は、未収入特定財源が7億751万円、一般財源が629万7千円。

可決された議案



町の施設と産業の基盤づくり

■弟子屈町勤労者会館の位置変更（移転）

（議案第44号）

施設の移転に伴い、所在地をこれまでの「中央2丁目」から「泉2丁目37番11」へ変更する条例改正が可決されました。

■畜産担い手育成総合整備事業 業務委託

（議案第45号）

摩周地区における高生産性な草地確保のため、北海道農業公社へ整備改良16戸（265.0ha）を委託します。

契約金額 **1 億597万円**

- ・契約の方法：随意契約
- ・契約金額：1 億597万円
- ・契約の相手方：公益財団法人 北海道農業公社 理事長 小田原 輝和

＜中心市街地＞ 大型廃ホテル撤去工事の請負契約

景観改善と安全確保のため、旧大型ホテルの解体・撤去に関する請負契約。



■旧丸米ホテル解体工事 請負契約について

（議案第64号）

- ・契約の目的：旧丸米ホテル解体工事
- ・工事の場所：弟子屈町中央1丁目
- ・契約の方法：指名競争入札
- ・契約の金額：2 億 8 千 765 万円
- ・契約の相手方：辻谷・丸高・メイセイ経常建設共同企業体
- ・工期：契約締結の翌日から270日

■旧パークホテル解体工事 請負契約について

（議案第65号）

- ・契約の目的：旧パークホテル解体工事
- ・工事の場所：弟子屈町中央1丁目
- ・契約の方法：指名競争入札
- ・契約の金額：2 億 4 千 805 万円
- ・契約の相手方：開成・東星渡部・コウヨウ経常建設共同企業体
- ・工期：契約締結の翌日から270日

人事案件

釧路町村公平委員会委員の選任について
(議案第49号～51号)

現委員の任期満了に伴い、地方公務員法第9条の2第2項の規定により提案され同意

- ・久保田真次(厚岸町)
- ・石塚剛(標茶町)
- ・池田浩樹(白糠町)

弟子屈町農業委員の任命について
(議案第52号～第63号)

任期満了に伴い、農業委員会等に関する法律第8条1項の規定により提案され同意

- ・星川幸喜(屈斜路)
- ・平岡美代子(跡佐登原野)
- ・芳賀ひとみ(美留和)
- ・徳永浩幸(跡佐登原野)
- ・奥村利之(美里)
- ・八幡健誠(美留和)
- ・岡林牧人(釧別)
- ・川崎政樹(仁多)
- ・江上真一(仁多)
- ・小林秀明(美留和原野)
- ・吉田竜也(熊牛原野)
- ・宗像祐司(奥オソツベツ原野)

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
(諮問第3号)

任期満了に伴い、人権擁護委員法第6条第3項の規定により提案され決定。
・氏名/金井典子(美留和)

令和8年 第3回臨時会 (令和8年3月23日)

令和8年第3回臨時会が開催され、単行議案2件の議案を審査の上、原案どおり可決し閉会した。

単行議案

釧路圏摩周観光文化センター空調設備設置工事請負契約について
(議案第40号)

- ・契約の目的/釧路圏摩周観光文化センター空調設備設置工事
- ・工事の場所/弟子屈町摩周3丁目
- ・契約の方法/指名競争入札
- ・契約の金額/1億1千88万円
- ・契約の相手方/株式会社大栄電業
- ・工期/契約締結の翌日から230日

財産の取得について

(議案第41号)

条例に基づき、不動産取得のために議会の議決を求めるもの。弟子屈町川湯温泉3丁目67番、4万5,257・91㎡の山林(土地)及び1496・42㎡の立木を取得。

弟子屈町議会



YouTube

令和8年 第4回臨時会 (令和8年4月28日)

令和8年第4回臨時会が開催され、報告1件、補正予算1件、人事案件1件の議案を審査の上、原案どおり可決し閉会した。

専決処分事項の報告

専決処分事項の報告について
(報告第2号)

(弟子屈町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)関係法令の改正に基づく、国民健康保険税の課税限度額及び軽減判定所得の基準額引き上げに伴う改正。

補正予算

令和8年度弟子屈町一般会計補正予算について(第1号)
(議案第42号)

歳入歳出予算にそれぞれ5千871万1千円を追加し、総額を214億5千871万1千円とした。主なものは物価高騰対策として燃料費等の価格高騰に伴う、全町民を対象とした現金給付事業や中央源泉揚湯設備緊急停止に伴う復旧工事などの追加を計上。

弟子屈町議会



YouTube

人事案件

監査委員の選任について
(議案第43号)

地方自治法第196条第1項の規定により提案され同意
・高砂弥生



議会の動き

私たちの町議会てしかが

3/3
2
6/2

臨時会・全員協議会関係

3月23日 令和8年第3回弟子屈町議会臨時会
4月28日 令和8年第4回弟子屈町議会臨時会

議長会関係

5月22日 釧路町村議会議長会5月定例会（標茶町）
5月25日～27日 全国議長・副議長研修会（東京都）

委員会関係

3月24日 議会広報常任委員会
4月10日 議会広報常任委員会
5月22日 議会運営委員会
5月22日 弟子屈町中心市街地及び川湯地区再構築等に係る調査特別委員会

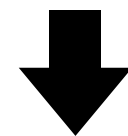
一部事務組合関係

3月24日 令和8年第1回釧路公立大学事務組合議会3月定例会
5月19日 令和8年第1回川上郡衛生処理組合臨時会

その他

3月12日 美留和小学校6年生総合学習成果発表会
3月12日 令和7年度弟子屈町スポーツ表彰授賞式
3月14日 くしろ川かわまちジャンボリー in弟子屈THE川床
3月21日 幼保連携型認定こども園ましゅう令和7年度（第7回）卒園証書授与式
3月27日 弟子屈町立川湯保育園卒園式
4月1日 辞令交付
4月1日 幼保連携型認定こども園ましゅう入園式
4月1日 弟子屈町立川湯保育園入園式
4月8日 北海道弟子屈高校入学式
4月9日 J A 摩周湖第26回通常総会
4月17日 摩周湖安全祈願祭
4月21日 複合施設地鎮祭
5月12日 2026年国民平和前行進に係る表敬訪問
5月13日 てしかがえこまち推進協議会令和8年度定期総会
5月18日 令和8年度第1回J R 釧網本線維持活性化沿線協議会
5月19日 弟子屈町商工会令和8年度通常総会
5月28日 釧路地方総合開発促進期成会定期総会
5月29日 テシカガまちなかデザイン定期総会

弟子屈町議会 YouTube
動画はこちら



次回

令和8年第3回定例会は
9月8日(火)からの予定です。

皆様の傍聴をお待ちしております。



表紙写真募集！

町民の皆さんより表紙写真を募集します。議会だよりの発行は2、5、8、11月となりますので、その季節にあった弟子屈の自然や景色等の写真をお持ちの方は議会事務局または広報委員の議員までご連絡ください。
※写真は選考により採用させていただきます！

議会広報常任委員会



発行／北海道弟子屈町議会

編集／弟子屈町議会広報常任委員会

委員長 萩原 寛暢

副委員長 川上 椋輔

委員 大道 賞二・板垣 牧

Tel・FAX 4 8 2 - 2 6 9 5 メール gikai@town.teshikaga.hokkaido.jp